

東日本大震災被災地支援 第48回兵庫県ボランティア参加者へのお知らせ

- 1 期 間 平成30年3月10日(土)～13日(火) 4日間(現地1泊・車中2泊)
- 2 行 き 先 宮城県名取市及び仙台市
- 3 活動内容
 - (1) 11日：名取市内 追悼行事支援活動、集会所の清掃、被災者との交流活動 等
 - (2) 12日：仙台市内 海岸清掃活動、東日本大震災学習・資料室 等

※ 天候等により変更となる場合があります。
- 4 行 程 等
 - (1) 集合時間・場所：3月10日(土) 17:00 「神戸クリスタルタワー」 1階ロビー
 ※神戸クリスタルタワー：神戸市中央区東川崎町1-1-3 (JR神戸駅南側スグ)
 - (2) スケジュール(予定)

区分	時間	項目	場 所 等	備考
1日目 3月10日(土)	17:00 17:30	集合 出発 經由	神戸クリスタルタワー 同上 三木市内 *追悼行事資材(竹灯籠等)積込み	車中泊
2日目 3月11日(日)	08:30	經由	名取市閑上地区日和山公園 (住所：宮城県名取市閑上 4-19) ・黙祷、兵庫県ボランティア植樹の桜に水遣り等	
	10:00	到着	名取市「愛島東部団地仮設住宅」 (住所：宮城県名取市愛島笠島字西小泉 68) *清掃活動、追悼行事支援活動、被災者との交流活動等	
	20:00	出発	同上 *現地バス利用	
	20:30	到着	宿舎：バリュー・ザ・ホテル仙台名取 (住所：宮城県名取市上余田字千刈田 555-1)	宿泊
3日目 3月12日(月)	09:00	出発	宿舎：バリュー・ザ・ホテル仙台名取 *現地バス利用	
	09:30	到着	仙台市若林区荒浜 東日本大震災慰霊之塔 *黙祷	
	09:40	到着	仙台市若林区荒浜海岸 里海ロッジ(荒浜字中丁 27) 付近 *地元語り部の講話、交流	
	【仙台班】		【愛島班】 ・ 愛島仮設住宅に現地バスで移動	
	10:00		荒浜海岸周辺	
			*海岸清掃活動	
	12:00	活動終了		
	13:15	出発	里海ロッジ	
	14:00	到着	みやぎ生協 東日本大震災学習・資料室 (住所：仙台市泉区八乙女 4丁目 2-2) *みやぎ生協職員によるガイド及び当時の映像から学ぶ	
	15:10	出発	同上	
	15:30	到着	鐘崎の笹かま館(住所：仙台市若林区鶴代町 6-65) *見学、買い物	
	16:30	出発	同上	
	17:00	到着	大江戸温泉物語仙台コロナの湯 *往復バスに乗り換え (住所：宮城県仙台市宮城野区福室字田中前一番 53-1)	
	19:00	出発	同上	車中泊
4日目 3月13日(火)	09:00	到着	神戸クリスタルタワー	解散

※ スケジュールは、状況によって変更になることがあります。

※ 3日目の活動の班分けは、当プラザで決めさせていただきますのでご了承ください(受付時にお知らせします)。

(3) 宿泊等について

- ・受付で宿泊代6,000円を名鉄観光サービス㈱の担当者に各自お支払いください。お釣りのないようお願いします。
- ・当日は他の宿泊客もおられます。兵庫県ボランティアということを意識し、言動にはくれぐれもご注意ください。
- ・宿泊はシングルルーム（風呂あり、寝具・タオル・歯ブラシ・バスタオル・ボディソープ・シャンプー・リンス等あり）となります。

5 食事・持参するもの（服装等）

(1) 食事

区 分	朝食	昼食	夕食
3月10日	—	—	×
3月11日	×	×	△
3月12日	○	×	×
3月13日	×	—	—

×：各自で購入またはサービスエリア等で取っていただきます。

○：負担金の中に含まれます。

△：別途1,000円の負担金をいただきます。

※ 水・食料は、サービスエリア等で購入可能ですが、売切れ等で購入ができない場合もあることをご承知置きください。

(2) 着替え、タオル、雑巾数枚、ゴミ袋数枚（個人の汚れ物を入れるため）

(3) 保険証又は保険証のコピー

(4) （必要に応じて）車内用としてブランケット等身体を覆うもの

【活動用の服装等】

活動場所	宮城県名取市他
服 装 等	・防寒着 ・長袖、長ズボン（汚れても構わないもの。動きやすい服装） ・軍手、ゴム手袋 ・動きやすい靴 ・合羽（雨天対策として）

※ これまで当プラザ主催のボランティアバスへ参加されたことがある方は、すでにお渡ししたジャンパー、帽子（「がんばろう東北」）をご持参ください。

また、ひょうご若者災害ボランティア隊員の方は、隊員用の帽子・ジャンパーをご持参ください。

(5) その他、各自で必要とされるもの（常備薬、雨具、車内用スリッパなど）

6 注意事項

災害ボランティアに行く前に

ひょうごボランティアプラザのHPのトップにバナーがありますので、是非ご覧ください。

URL: <http://ameblo.jp/hyogo-vplaza/entry-10918930555.html>

(1) 野外での活動も含まれます。季節の変わり目でもありますので、寒暖の変化に十分ご注意ください。

(2) 活動場所には、活動に必要な物品（水等の飲料・タオル等）と貴重品だけを持って行きます。活動がしやすい（両手が使える）ように、荷物はひとまとめにしてください。リュックサックかウエストポーチ等が便利です。

(3) バス車内ではスリッパのようなものがあると、足も疲れず便利です。

(4) バスの中で睡眠をとることになりますが、必要だと思われる方は、ブランケット等身体にかけるものをご用意ください。事務局ではご用意いたしません。

なお、被災地での活動は、危険がともなうことや荒天での活動となる場合があります。自分自身で安全や健康を管理することが基本であることを理解したうえで、参加してください。

7 その他

現地ではグループでの活動となりますので、個人行動は控えていただき、スタッフやグループリーダーの指示に従ってください。

災害時のボランティア活動について

災害救援ボランティア活動には大きな期待が寄せられますが、一方で、ボランティア活動が被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、ボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

ここでは、災害救援ボランティア活動に参加する際の基本的な注意事項についてご案内します。災害救援ボランティア活動への参加の参考としてください。

災害救援ボランティア活動は、ボランティア本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することが基本です。

被災地での活動は、危険がともなうことや重労働となる場合があります。安全や健康についてボランティアが自分自身で管理することであることを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。

水、食料、その他身の回りのものについてもボランティア自身が事前に用意し、携行のうえ被災地でのボランティア活動を開始してください。

被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。

被災地では、単独行動はできるだけ避けてください。組織的に活動することで、より大きな力となることができます。

自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。

備えとして、ボランティア活動保険に加入しましょう。